

目指す幼稚園像	明るく健康な幼児が育つ園づくり
重点目標	1. 一人一人が健康で安全に過ごせる幼稚園 2. 基本的な生活習慣が定着し、進んで行う子の育成 3. 家庭・地域に信頼される園づくり

達	A	ほぼ達成(8割以上)
成	B	概ね達成(6割以上)
	C	変化の兆し(4割以上)
	D	不十分(4割未満)
度	E	よくわからない

学 校 自 己 評 価				学 校 関 係 者 評 価				
年 度 目 標				年 度 評 価 (2 月 2 2 日 現 在)				
番号	現 状 と 課 題	評 価 項 目	具 体 的 方 策	方 策 の 評 価 指 標	評 価 項 目 の 達 成 状 況	達 成 度	次 年 度 へ の 課 題 と 改 善 策	学 校 関 係 者 からの 意 見 ・ 要 望 ・ 評 価 等
1	<p>・ブランコがこげない、タイヤ跳びができないなど、体の動きがぎこちない園児が多く見られる。</p> <p>・ブランコの後ろを通ったり、禁止されている所から飛び降りるなど、危険なことをしていることに気付かない、危険への意識が低い。</p>	<p>・保育内容の充実 (生活)(興味・関心)</p> <p>(生活)(興味・関心)</p>	<p>・ジャングルジムや雲梯など、体の付け根から手足を大きく動かすことを意識した遊びを取り入れていく。 ・サーキット遊びやけんけんぱなど、リズムよく体を動かしたり、バランスをとる活動を意図的に取り入れる。</p> <p>・園内、園外に限らず、危険な場面について知らせたり、園児と話し合ったりする。 ・遊具周辺の環境を見直し、園児が安全に遊べるようにする。</p>	<p>・8割以上の園児が、いろいろな運動遊びに喜んで取り組むことができたか。 ・8割以上の園児が体の動きが良くなったと感じられたか。</p> <p>・危険な行動をする園児が少なくなったか。 ・園児の危険を予測し、安全に遊ぶことができる環境を整備することができたか。</p>	<p>・学級全体で固定遊具に取り組むようにしたことで、難しい遊具にも挑戦できるようになった子が増えた。 ・サーキット遊びやけんけんぱなどの遊びを意図的に取り入れていったことで、体の動きが以前より良くなった。</p> <p>・クラス全体で遊具の使い方や危険な行動について確認する機会をつくった。 ・ブランコ周りの柵を新たに設置する予定であり、園児が安全に遊べるように環境を工夫した。</p>	A	<p>・戸外でもサーキット遊びを設定し、遊びを通していろいろな動きができるようにする。 ・遊びの中での危険な行為について、引き続き指導していく。</p> <p>・園庭の環境整備については、まだ改善点が多くあるので、必要性の高いものから計画的に整備していく。</p>	<p>・体が軽いうちにやりやすい雲梯や登り棒などは、上手に誘いかけて、できるようにしていくことで自信をつけ、さらなる意欲につなげていってほしい。</p> <p>・心身がアクティブに動くことが気持ちいいと感じることはとても大切であり、今日、気持ちよく身体を動かしている姿が多く見られてよかった。</p> <p>・ヘビジャンケンでぎゅっと止まる動きや、サーキットでのジャンプ体験など、さまざまな動きを取り入れていてよい経験になっている。</p>
2	<p>・椅子に座っている時の姿勢が悪く、足を組んだり、斜めに寄りかかるように座ったりして、椅子から落ちそうになっている子が多く見られる。</p> <p>・新型コロナウイルスの予防として、手洗いとうがいが重要ということは理解しているが、やり方が雑な園児が見られる。 ・ブクブクうがいとガラガラうがいを正しく使い分けることができていない子が見られる。</p>	<p>・基本的生活習慣の定着 (生活)(興味・関心)</p> <p>(生活)</p>	<p>・正しい姿勢や椅子の座り方を知らせ、繰り返し指導していく。 ・正しい姿勢で座ることができるようになると、集中力が付き、話が良く聞けるようになるなどのメリットを園児に具体的に伝えていく。 ・園児の前で話をする時に、教師も椅子に座って良い姿勢の手本を示していく。</p> <p>・園での手洗い、うがいのやり方について、職員間で丁寧に共通理解をする。 ・手洗いの手順やうがいの方法を、水道の近くに見やすく表示する。 ・幼稚園での指導方法を保護者にも伝え、家庭での指導に活かしてもらえるようにする。</p>	<p>・8割以上の園児が良い姿勢で椅子に座れるようになったか。</p> <p>・8割以上の園児が手洗い、うがいのやり方を理解し、丁寧に取組むことができたか。</p>	<p>・教師も大人用の椅子に正しい姿勢で座り、園児に良い姿勢の手本を示すようにした。繰り返し指導することで以前より椅子に座る姿勢が良くなった。</p> <p>・園全体で「あわあわであらいのうた」に合わせて手洗い指導を行った。手洗いの仕方の表示やCDを用いて、繰り返し指導することで、8割以上の園児が丁寧に手洗い、うがいに取組めた。 ・手洗い、うがいの指導について、保健だよりで保護者に知らせるようにした。</p>	A	<p>・給食中は正しい姿勢を持続することが難しい園児がまだ多い。 ・良い姿勢を持続できるように、筋力を鍛えられる遊びを取り入れていく。</p> <p>・手洗い、うがいの仕方が定着するまで、教師は園児の側について指導していく。</p>	<p>・アンケート結果では、保護者と園との差が大きく見られ、保護者の方が評価が低かった。このことについては、子供は幼稚園で頑張っている半面、家では安心して保護者に甘えて家庭が安心できる場になっている証拠であり、幼児の健全な姿である。また、保護者は自分の子供の評価ということで、厳しくつけてしまっている可能性もある。</p> <p>・正しい姿勢や手洗い・うがいなどの習慣をこの時期に身につけることは、人生にとってとても大</p>
3	<p>・地域の未就園児が遊びに来たり、未就園児の保護者が育児について相談がしやすい体制が整っていない。</p> <p>・今年度は新感染症予防のため、保護者が幼稚園に来る機会が非常に少ない。幼稚園での様子が保護者には伝わりづらい状況にある</p>	<p>・開かれた園づくり (他者との関係) (生活)(興味・関心)</p> <p>(他者との関係)</p>	<p>・2学期以降、預かりの保育室を利用し、未就園児親子が参加できる「あそぼう会」を予約制で実施する。 ・幼稚園施設を地域の未就園児に開放したり、保護者の相談に応じたりして、地域の子育て支援を行う。</p> <p>・園だよりや学年だより、保健だよりなどに積極的に写真を掲載していき、園生活の様子が保護者や地域に伝わりやすいようにする。</p>	<p>・「あそぼう会」への参加者が募集定員の半数以上あったか。 ・未就園児保護者からの相談が、昨年よりも増えたか。</p> <p>・写真を取り入れ、見やすく分かりやすい便りを発行することができたか。</p>	<p>・新型コロナウイルス感染予防のため、未就園児の「あそぼう会」を実施することはできなかった。新入園児の体験入園は少人数で実施することで保護者の相談にも丁寧に対応できた。</p> <p>・園だよりだけでなく、今年度は学年だよりも写真をできるだけ載せるようにした。見やすく、園の様子が伝わりやすい便りを作成することができた。 ・保育の様子をビデオで撮り、クラス懇談会で保護者に見せるなど、幼稚園の様子が保護者に伝わるように工夫した。</p>	B	<p>・午前中の預かり保育の保育室を未就園児親子が利用しやすい場となるように環境を整える。 ・保健センター等に協力依頼をし、未就園児の活動について周知していく。</p> <p>・幼稚園ホームページについてリニューアルを検討し、幼稚園からの情報を積極的に発信できるようにする。</p>	<p>・幼稚園の様子を保護者や地域にも発信していくことは各学校の課題である。</p> <p>・園だよりが回覧で回ってくるのは園での様子がよく分かり、地域住民とても楽しみにしている。</p> <p>・おたよりに写真が多いのはとてもよい。写真が多いと「見たい」と思える。</p>